

2018年10月
No.18-108a(山)※5

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■変更内容

- 別掲の一覧表をご参照下さい。

■変更期日

- 2018年12月6日(木)受付日分より

以上

●検査内容変更一覧

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
46	2106	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	報告範囲 (単位)	1.5 未満 1.5~99900000 (pg/mL)	2.0 以下 2.1~99900000 (pg/mL)	報告範囲の変更、データ影響に関する情報を案内書備考欄へ追加
			備考	ACTH は EDTA 濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取してください。		
49	2141	オステオカルシン	報告範囲 (単位)	0.5 未満 0.5~99900000 (ng/mL)	1.0 未満 1.0~99900000 (ng/mL)	報告範囲の変更
52	2189	コルチゾール [ECLIA]	報告範囲 (単位)	0.06 未満 0.06~99900000 (μ g/dL)	0.05 以下 0.06~99900000 (μ g/dL)	
56	2253	ヒト胎盤性ラクトーゲン (HPL)	項目名称	ヒト胎盤性ラクトジェン (HPL)	ヒト胎盤性ラクトーゲン (HPL)	検査中止に伴う委託先の変更 (6 頁参照)
			検体量	血清 0.5 mL	血清 0.6 mL	
			所要日数	3~5 日	3~6 日	
			検査方法	LA (ラテックス凝集比濁法)	ラテックス凝集免疫法	
			基準値	本案内 6 頁参照		
			検査委託先	LSI メディエンス(→1)	エスアールエル(→5)	
71	2828	単純ヘルペスウイルス IgG	備考	固相法 同時期の髄液と血清の双方を同時測定することにより、髄液中の局所産生抗体の証明が可能です。	固相法	検査案内書の備考欄の変更
84	3057	HBV ゲノタイプ	検体量	血清 0.6 mL	血清 0.5 mL	機器自動化への変更、および検体量、所要日数の変更 (6 頁参照)
			所要日数	3~6 日	3~8 日	
92	3860	トキソプラズマ IgM 抗体	備考	IgM 抗体は長期間陽性が持続する場合がありますので、下記判定基準をご参照ください。	(なし)	データ影響に関する情報を案内書備考欄へ追加。
100	3514	IgD	所要日数	3~5 日	3~6 日	検査中止に伴う委託先の変更
			検査方法	LA (ラテックス凝集比濁法)	ラテックス凝集免疫法	
			基準値	12.6 以下 (mg/dL)	9.0 以下 (mg/dL)	
			検査委託先	LSI メディエンス(→1)	エスアールエル(→5)	

※その他の検査要項に変更はございません。

※頁は総合検査案内 2018/2019 年版の掲載頁です。

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
125	1982	Cu(銅)〔尿〕	報告範囲 (単位)	尿量により変更 ~999000 (μ g/day)	尿量により変更 ~999000.0 (μ g/day)	報告範囲の変更
143	2016	クロナゼパム	基準値 (単位) (治療濃度範囲)	20~70 (ng/mL)	25~75 (ng/mL)	最新のガイドラインまたは医薬品インタビューフォームに基づいた基準値(治療濃度範囲)、および採血時刻の変更
143	2018	ニトラゼパム	基準値 (単位) (治療濃度範囲)	20~200 (ng/mL)	200以下 (ng/mL)	
144	2050	ピルシカイニド	基準値 (単位) (治療濃度範囲)	0.2~0.9 (μ g/mL)	Peak濃度 0.2~0.9 (μ g/mL)	
			採血時刻	次回投与直前 (Trough濃度)	経口: 投与後1~2時間	
149	5980	染色体 G-Banding (先天異常)	所要日数	7~17日	10~20日	所要日数の短縮
149	-	脆弱X染色体 (脆弱X症候群)	所要日数	14~17日	17~20日	
151	7845	末梢血好中球 bcr-abl t(9;22)転座	項目名称	末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22) 転座	末梢血好中球 bcr-abl t(9;22)転座	最新のWHO分類(2017年)で推奨された表記法へ項目名称の変更、および項目コードの変更
151	7998	bcr-abl t(9;22)転座	項目名称	BCR-ABL1 t(9;22) 転座	bcr-abl t(9;22)転座	
151	7909	AML1-ETO(MTG8) t(8;21)転座	項目名称	RUNX1-RUNX1T1 (AML1-MTG8) t(8;21)転座	AML1-ETO(MTG8) t(8;21)転座	
151	-	CBF β inv(16)逆位、 t(16;16)転座	項目名称	CBFB inv(16)逆位、 t(16;16)転座	CBF β inv(16)逆位、 t(16;16)転座	
151	-	MLL 11q23 転座	項目名称	KMT2A(MLL) 11q23.3 転座	MLL 11q23 転座	
151	-	CSF1 レセプター del(5)長腕欠失	項目コード	8190	-	
			項目名称	CSF1R del(5)長腕 欠失	CSF1 レセプター del(5)長腕欠失	
152	7887	p53 del(17)短腕 欠失	項目名称	TP53 del(17)短腕 欠失	p53 del(17)短腕欠失	
152	-	FIP1L1-PDGFR α del(4)長腕欠失 (4q12 欠失)	項目名称	FIP1L1-PDGFR α del(4)長腕欠失 (4q12 欠失)	FIP1L1-PDGFR α del(4)長腕欠失 (4q12 欠失)	
152	7878	TEL-AML1 t(12;21) 転座	項目名称	ETV6-RUNX1 (TEL-AML1) t(12;21)転座	TEL-AML1 t(12;21) 転座	
152	4103	IgH-bcl1 t(11;14) 転座	項目名称	IGH-CCND1 (IGH-BCL1) t(11;14)転座	IgH-bcl1 t(11;14) 転座	
152	4144	IgH-bcl2 t(14;18) 転座	項目名称	IGH-BCL2 t(14;18) 転座	IgH-bcl2 t(14;18) 転座	
152	5988	IgH-FGFR3 t(4;14)転座	項目名称	IGH-FGFR3 t(4;14)転座	IgH-FGFR3 t(4;14)転座	
152	5986	IgH/c-myc t(8;14)転座	項目名称	IGH-MYC t(8;14) 転座	IgH/c-myc t(8;14) 転座	

※その他の検査要項に変更はございません。

※頁は総合検査案内 2018/2019 年版の掲載頁です。

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
152	-	IgH-MAF t(14;16)転座	項目名称	IGH-MAF t(14;16)転座	IgH-MAF t(14;16)転座	
152	-	bcl6 3q27 転座	項目コード	6129	-	最新のWHO分類(2017年)で推奨された表記法へ項目名称の変更、および項目コードの変更
			項目名称	BCL6 3q27 転座	bcl6 3q27 転座	
152	-	API2-MALT1 t(11;18)転座	項目コード	4912	-	
			項目名称	BIRC3-MALT1 (API2-MALT1) t(11;18)転座	API2-MALT1 t(11;18)転座	
153	6393	N-myc 2p24 増幅	項目名称	MYCN 2p24 増幅	N-myc 2p24 増幅	
154	1217	Major BCR-ABL1 キメラ mRNA 定量	項目名称	Major BCR-ABL1 mRNA 定量	Major BCR-ABL1 キメラ mRNA 定量	最新のHUGO (Human Genome Organisation) で推奨された表記法へ項目名称の変更、および項目コードの変更
154	-	major-bcr bcr-abl キメラ mRNA 定性	項目名称	Major BCR-ABL1 mRNA 定性	major-bcr bcr-abl キメラ mRNA 定性	
154	8177	minor-bcr bcr-abl キメラ mRNA 定量	項目名称	minor BCR-ABL1 mRNA 定量	minor-bcr bcr-abl キメラ mRNA 定量	
154	-	minor-bcr bcr-abl キメラ mRNA 定性	項目名称	minor BCR-ABL1 mRNA 定性	minor-bcr bcr-abl キメラ mRNA 定性	
154	-	AML1-EVI1 キメラ mRNA 定性	項目名称	RUNX1-MECOM mRNA 定性	AML1-EVI1 キメラ mRNA 定性	
154	3933	AML1-MTG8 キメラ mRNA 定量	項目名称	RUNX1-RUNX1T1 mRNA 定量	AML1-MTG8 キメラ mRNA 定量	
154	-	AML1-MTG8 キメラ mRNA 定性	項目名称	RUNX1-RUNX1T1 mRNA 定性	AML1-MTG8 キメラ mRNA 定性	
154	-	DEK-CAN キメラ mRNA 定量	項目名称	DEK-NUP214 mRNA 定量	DEK-CAN キメラ mRNA 定量	
154	-	DEK-CAN キメラ mRNA 定性	項目名称	DEK-NUP214 mRNA 定性	DEK-CAN キメラ mRNA 定性	
154	4963	PML-RARA キメラ mRNA 定量	項目名称	PML-RARA mRNA 定量	PML-RARA キメラ mRNA 定量	
154	-	PML-RARA キメラ mRNA 定性	項目コード	4962	-	
			項目名称	PML-RARA mRNA 定性	PML-RARA キメラ mRNA 定性	
155	-	CBFβ-MYH11 キメラ mRNA 定量	項目名称	CBFB-MYH11 mRNA 定量	CBFβ-MYH11 キメラ mRNA 定量	
155	-	CBFβ-MYH11 キメラ mRNA 定性	項目名称	CBFB-MYH11 mRNA 定性	CBFβ-MYH11 キメラ mRNA 定性	
155	-	MLL-AF4 キメラ mRNA 定性	項目名称	KMT2A-AFF1 mRNA 定性	MLL-AF4 キメラ mRNA 定性	
155	-	MLL-AF9 キメラ mRNA 定性	項目名称	KMT2A-MLLT3 mRNA 定性	MLL-AF9 キメラ mRNA 定性	
155	-	MLL-ENL キメラ mRNA 定量	項目名称	KMT2A-MLLT1 mRNA 定量	MLL-ENL キメラ mRNA 定量	
155	-	MLL-ENL キメラ mRNA 定性	項目名称	KMT2A-MLLT1 mRNA 定性	MLL-ENL キメラ mRNA 定性	
155	-	NUP98-HOXA9 キメラ mRNA 定量	項目名称	NUP98-HOXA9 mRNA 定量	NUP98-HOXA9 キメラ mRNA 定量	

※その他の検査要項に変更はございません。

※頁は総合検査案内 2018/2019 年版の掲載頁です。

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
155	-	E2A-PBX1 キメラ mRNA 定量	項目名称	TCF3-PBX1 mRNA 定量	E2A-PBX1 キメラ mRNA 定量	最新の HUGO (Human Genome Organisation) で推奨された表記法へ項目名称の変更
155	-	E2A-PBX1 キメラ mRNA 定性	項目名称	TCF3-PBX1 mRNA 定性	E2A-PBX1 キメラ mRNA 定性	
155	-	ETV6-AML1 キメラ mRNA 定量	項目名称	ETV6-RUNX1 mRNA 定量	ETV6-AML1 キメラ mRNA 定量	
155	-	ETV6-AML1 キメラ mRNA 定性	項目名称	ETV6-RUNX1 mRNA 定性	ETV6-AML1 キメラ mRNA 定性	
170	-	CD1	項目名称	CD1a	CD1	正確な名称へ変更
-	1923	総分岐鎖アミノ酸／チロシンモル比 (BTR)	総分岐鎖アミノ酸の報告範囲	4.0 未満 4.0~999999.9 (μ mol/L)	23.0 未満 23.0~999999.9 (μ mol/L)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および報告範囲の変更 (7頁参照)
			チロシンの報告範囲	4.0 未満 4.0~999999.9 (μ mol/L)	30.0 未満 30.0~999999.9 (μ mol/L)	

※その他の検査要項に変更はございません。

※頁は総合検査案内 2018/2019 年版の掲載頁です。

ヒト胎盤性ラクトジェン(HPL)

検査委託先より検査中止の案内を受け、委託先を変更し継続して検査受託いたします。
委託先変更に伴い、基準値も変更となります。

■基準値

新 (単位: μ g/mL)			旧 (単位: μ g/mL)		
妊婦	5~8 週	0.3 以下	妊婦	5~8 週	0.07 以下
	16~20 週	0.5~2.3		9~12 週	1.1 以下
	24~28 週	1.5~5.3		13~16 週	0.3~2.1
	36~40 週	3.3~8.5		17~20 週	0.7~3.6
		21~24 週		1.3~5.6	
		25~28 週		2.2~8.0	
		29~40 週		3.0~9.9	

HBV ゲノタイプ

機器自動化により、検体量の変更および所要日数の短縮をいたします。

■新旧二法の相関

ゲノタイプ		現法				判定 保留
		A	B	C	D	
新法	A	9				
	B		13			
	C			16		
	D				7	
	判定 保留					15

一致率 : 100%

(エスアールエル 検討データ)

■参考文献

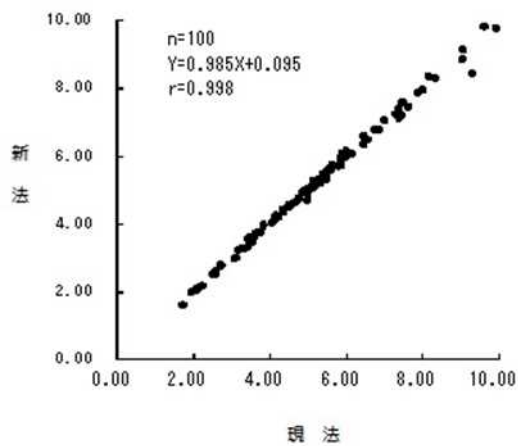
田中 靖人, 他: 臨床病理 57(1):42~47, 2009. (検査方法参考文献)

総分岐鎖アミノ酸／チロシンモル比(BTR)

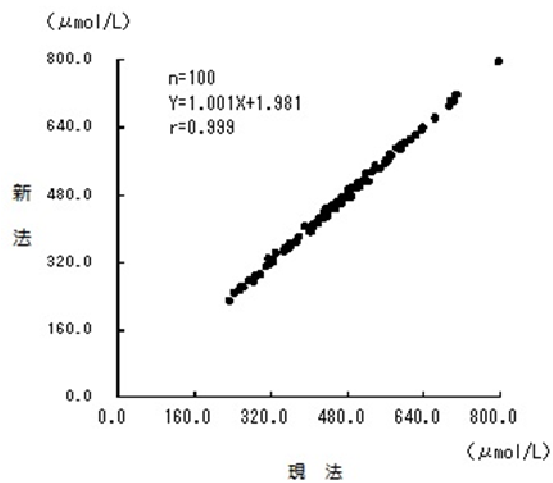
試薬販売中止に伴い、同一メーカーの代替試薬へ変更いたします。
基準値など、項目要項の変更は一切ありません。

■新旧二法の相関

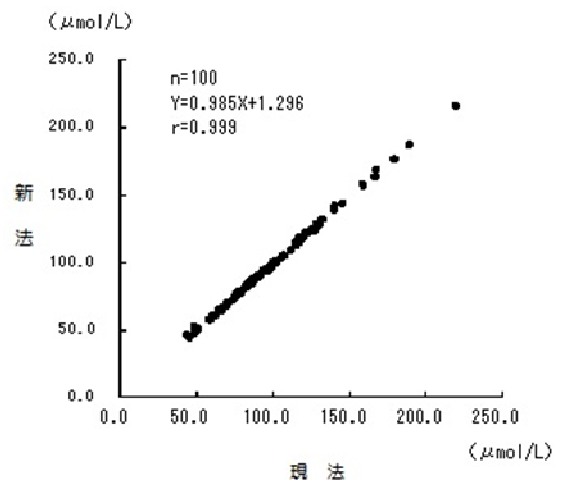
総分岐鎖アミノ酸／チロシン比



総分岐鎖アミノ酸



チロシン



(エスアールエル 検討データ)